

単元名 タンギングや左手の運指を身に付けよう

配当時間 3時間

単元の目標 (1) リコーダーの音色や響きと奏法の関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するためのタンギングや左手の運指などの技能を身に付けることができる。
 (2) リコーダーの音色と奏法との関わり、曲想と音楽の構造との関わりを理解し、タンギングや左手の運指などの技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。
 (3) 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開例

10260103_001

【教材名】 リズム de ゴー しりとり歌 チャイニーズ・ダンス 喜びの歌 ◆オーラ・リー ◆メリーさんの羊 ◆カノン1 (P. 4～P. 9)

【準備等】 範奏音源、鑑賞音源、タブレット、ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 タンギングやソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーとの関係を理解して、「リズム de ゴー」や「しりとり歌」を演奏する。 ★「リズム de ゴー」と「しりとり歌」を演奏しよう。 ○リコーダーの各部の名称、指穴の番号と指番号、ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーとの関係を理解し姿勢やかまえ方などを身に付ける。 ○ソプラノ・リコーダーまたはアルト・リコーダーの同じ運指で「リズム de ゴー」を演奏する。 ○ソプラノ・リコーダーまたはアルト・リコーダーの同じ運指で「しりとり歌」を演奏する。</p> <p>2 左手の運指を身に付けて、「チャイニーズ・ダンス」や「喜びの歌」を演奏する。 ★「チャイニーズ・ダンス」と「喜びの歌」を演奏しよう ○2～4人のグループで「チャイニーズ・ダンス」を演奏する。 ○2～4人のグループで「喜びの歌」を演奏する。 ○グループごとに演奏を発表し、注意点などをワークシートにまとめる。</p> <p>3 「オーラ・リー」または「メリーさんの羊」のどちらかを選択し、まとめの演奏を発表する。 ★まとめの演奏を発表しよう。 ○2～4人のグループで「オーラ・リー」または「メリーさんの羊」のどちらかを選択し、まとめの演奏を発表する。 ○注意点などをワークシートにまとめる。</p>	<p>・教科書P.4「各部の名称」やP.5「姿勢とかまえ方」「指穴と番号と指番号」を参照し、ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーの持ち方を確認させる。 ・タブレットでまなびリンクを活用して、タンギングの模範演奏を確認させる。 ・音程の違いを聴き取りながらタンギングを身に付けて表現させる。 【評】 音色や響きを工夫し、タンギングや運指などを身に付けて表現する活動を通して、「技能」を評価する。</p> <p>・タブレットでまなびリンクを活用して、タンギングや左手の運指などを確認させる。 【評】 グループ演奏の練習に取り組む活動を通して、「技能」を評価する。 【評】 他グループの演奏を、表現に関わる知識や技能と関連付けて鑑賞する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・タブレットでまなびリンクを活用して、「メリーさんの羊」についてタンギングや左手の運指を確認させる。 【評】 今まで得た知識や技能を生かして曲を演奏する活動を通して、「知識・技能」を評価する。 【評】 自分たちの演奏や他のグループの演奏を聴いて、音楽的な観点から感じたことをワークシートにまとめる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

姿勢とかまえ方、指穴の番号と指番号を確認し、「リズム de ゴー」でタンギングを身に付けて演奏する。また、ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーを同じ運指で演奏することから関係性を理解し、「しりとり歌」「チャイニーズ・ダンス」を表現する。学習のまとめとして、アルト・リコーダーで「喜びの歌」「オーラ・リー」を、ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーのアンサンブルで「メリーさんの羊」を演奏する。カノン1で合わせて演奏することもできる。

【共通事項】 音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ